

1. 進級・卒業等の要件

本学では、進級するために次の要件を設定しています。要件に満たない場合は進級することができません。また、各学年1年以上の在学が必要となりますので、各学年1年未満の在学での進級はできません。なお、休学期間は在学期間から除かれます。

※本学での在学可能期間は8年です。

(1) 第2学年への進級要件

第1学年終了時の取得単位数が24単位以上の場合、第2学年へ進級することができます。

(2) 第3学年への進級要件

第2学年終了時に3年生への進級要件としての取得単位数は、設定がありませんが4年生への進級には100単位以上が必要であることから、2年生修了時には60単位以上を修得していることが望ましいです。

(3) 第4学年への進級要件

第3学年終了時の取得単位数が100単位以上の場合、第4学年へ進級することができます。

■進級に必要な最低単位数

	第2学年へ	第3学年へ	第4学年へ
単位数	24	—	100

(4) 卒業の要件

第4学年終了時点で125単位以上取得し、また、各分類で次の単位数を取得した者を卒業とします。

■卒業に必要な最低単位数一覧

	共通教育科目※1								専門教育科目				その他 選択※2	合計
	一般教育科目				外国語科目		体育 科目	共通 教育 科目 合計	必修	選択 必修	選択	専門 教育 科目 合計		
	必修	選択必修 (専門基礎)	選択必修 (一般教養)	選択	選択 必修①	選択 必修②	選択							
応用化学生物 学科	27	6	6		4	2		45	27	6	44	77	3	125
電子光工学科									39	—	38			
情報システム工学科									38	2	37			

※1 共通教育科目は、一般教育必修27単位、一般教育選択必修（専門基礎）6単位、一般教育選択必修（一般教養）6単位、外国語選択必修①4単位、外国語選択必修②2単位以上を修得し共通教育科目は、合計45単位以上を修得すること。

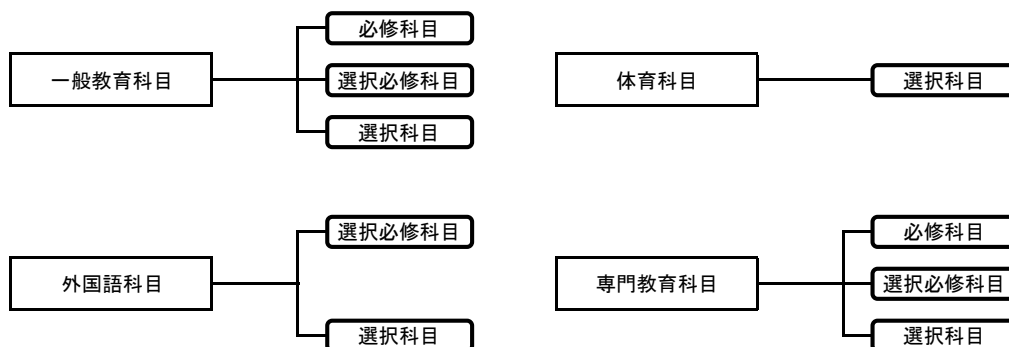
※2 その他選択（全体）3単位

共通教育科目または専門教育科目から3単位以上取得すること。

（共通教育科目で45単位を超えて修得した単位及び専門教育科目で77単位を超えて修得した単位かを算入できる。）

2. 科目の分類・種別

科目は、4つに分類され、さらに3種類に分けられています。



分類

(1) 一般教育科目

豊かな人間性と広範な知識、総合的な思考力を身につけるため、人文、社会、自然科学の各分野にわたる科目（選択必修）と専門教育に結びつく基礎的な科目（必修）を設定しています。

(2) 外国語科目

高度な語学力と国際感覚を身につけるため、選択必修科目と選択科目を設定しています。

(3) 体育科目

体力増進と健康の維持を期するため、選択科目を設定しています。

(4) 専門教育科目

高度な専門知識への対応能力、国際的な学術研究の感覚を身につけるため、講義・実験・実習などの専門的な科目を設定しています。

種別

(1) 必修科目

履修を義務付けられた科目で、1単位でも修得もれがあると卒業できません。

(2) 選択必修科目

指定された科目のうちから決められた単位数を取得してください。

(3) 選択科目

自分の興味のあるものを選択し、卒業に必要な単位に加えることができます。

3. 履修科目一覧

共通教育科目

(1) 一般教育科目

区分	学年	春 学 期			秋 学 期		
		科 目 名	単位数	備考	科 目 名	単位数	備考
必修	1	数学A	3	*1	(数学A)	3	*1
		サイエンス基礎	2		テクノロジー基礎	2	
		化学入門	2		物理学入門	2	
		生物学入門	2		情報技術概論	2	
		エレクトロニクス入門	2		理工学基礎実験	2	
		情報学基礎演習	2		キャリア形成A2	1	
		キャリア形成A1	1		言語リテラシー2	1	
		言語リテラシー1	1		地域課題プロジェクト	1	
		千歳学	1				
選択必修 (専門基礎)	1				数学B	2	
					データサイエンス	2	
					エレクトロニクス基礎	2	
					インフォマティクス基礎	2	
					化学基礎	2	
	2	数学C	2				
		生物学基礎	2				
		力学	2				
		熱力学	2				
		人間情報科学	2				
		基礎フーリエ数学	2				
選択必修 (一般教養)	1~2	日本国憲法(遠隔)	2	*2	宗教と科学技術 ※開講しません	2	
					くらしと政治	2	
					人と社会	2	
					北海道の歴史	2	
					心理学入門(遠隔)	2	*2
	2~3	哲学と世界	2				
		倫理と人間	2				
		心の科学	2				
		論理学入門	2				
		現代の社会経済	2				
		くらしと法律	2				
選択	1	初歩の物理学	2				
		数学基礎	2				
	2	キャリア形成B1	1	*3	キャリア形成B2	1	*3

【卒業要件】

- ①必修科目は、27単位を修得すること。
- ②選択必修(専門基礎)は、6単位以上を修得すること。
- ③選択必修(一般教養)は、6単位以上を修得すること。
- ④共通教育科目は一般科目・外国語科目・体育科目合計で45単位以上修得すること。

【注意事項】

- *1 「数学A(3単位)」は、春・秋学期ともに同じ内容のため、いずれかの学期で修得すればよい。
- *2 「日本国憲法(遠隔)」、「心理学入門(遠隔)」は一部対面及びeラーニングで実施。
- *3 CAP制の対象外科目。

(2) 外国語科目

区分	学年	春 学 期			秋 学 期		
		科 目 名	単位数	備考	科 目 名	単位数	備考
選択必修①	1	理系のための基礎英語 I	2		理系のための基礎英語 II	2	
		英語リーディング I	2		英語リーディング II	2	
		英語基礎 I	2		英語基礎 II	2	
選択必修②	2	アメリカ事情 I	2	注 1	アメリカ事情 II	2	注 1
		TOEIC I	2	注 1	TOEIC II	2	注 1
		英語と文化 I	2	注 1	英語と文化 II	2	注 1
		フランス語	2	注 1	ドイツ語	2	注 1
		中国語 1	2	注 2	(中国語 1)	2	注 2
				中国語 2	1		
	3	中国語 3	1		技術中国語 1	1	
	4	技術中国語 2	1				
3~4	科学技術英語 I	2		科学技術英語 II	2		
選択	1	英語コミュニケーション	2	注 2	(英語コミュニケーション)	2	注 2
		実用英語	2		(実用英語)	2	
		時事英語	2		(時事英語)	2	

【卒業要件】

- ① 選択必修①の科目は、春学期・秋学期に配当されている科目からそれぞれ 1 科目選択し 4 単位を修得すること。
- ② 選択必修②の科目は各学年・各学期に配当されている科目全体から 2 単位以上を修得すること。
- ③ 選択科目の単位は、卒業要件単位として修得すべき共通教育教育科目 4 5 単位、専門科目 7 7 単位、その他選択 3 単位のうち、その他選択 3 単位に含めることができる。

【注意事項】

- 注 1 受講者数を制限するため各学期の始めに履修希望調査を行います。
- 注 2 春学期と秋学期に同じ内容を開講します。
- 注 3 CAP制の対象外

区分	科 目 名	単位数	備考
選択必修②	認定英語1	2	注3
	認定英語2	2	
	認定英語3	2	

※上記の科目は、TOEIのスコア又は英検の級が本学の定める基準を満たした場合に認定できる科目である。

(3) 体育科目

区分	学年	春 学 期			秋 学 期		
		科 目 名	単位数	備考	科 目 名	単位数	備考
選択	1	スポーツ総合1	1	注3	スポーツ総合2	1	注3
		健康科学	1				

専門教育科目

(1) 応用化学生物学科

区分	学年	春 学 期			秋 学 期		
		科 目 名	単位数	備考	科 目 名	単位数	備考
必修	2	光サイエンス実験A	2		光サイエンス実験B	2	
		マテリアル科学A	2		コンピュータプログラミング1	2	
		有機化学基礎	2		高分子科学	2	
		オブティクス	2		光生物学	2	
		分析科学	2				
	3	コンピュータアプリケーション	2				
4	輪講	1	注4				
	卒業研究A	3	注4	卒業研究B	3	注4	
選択必修	3	バイオ電子フォトニクス実験A	2	①グループ	バイオ電子フォトニクス実験B	2	①グループ
		マテリアルフォトニクス実験A	2	②グループ	マテリアルフォトニクス実験B	2	②グループ
	4	バイオ・メディカルフォトニクスセミナー	2	①グループ			
		マテリアルフォトニクスセミナー	2	②グループ			
選択	2	生化学	2		有機化学	2	
		マテリアル科学B	2		生物学基礎A	2	
		量子科学入門	2		電磁気学	2	
		地学概論1	2		分子生物学	2	
		地学実験	1	注1	デジタル回路	2	
					地学概論2	2	
					物理学実験	1	注2
	3	医用無機材料	2		無機エレクトロニクス・フォトニクス	2	
		医学概論	2		医用高分子	2	
		フォトニクスポリマー	2		フォトニクス物性物理	2	
		バイオ高分子	2		化学工学	2	
		バイオフォトニクス	2		医用レーザー工学	2	
		アナログ回路	2		バイオエレクトロニクス	2	
		レーザー概論	2		ナノフォトニクスデバイス	2	
		バイオミメティクス	2		エレクトロニクス計測	2	
		分子デザイン	2		有機エレクトロニクス・フォトニクス	2	
		環境化学	2		生物試料分析	2	
		生物学実験	1	注1	生物学応用	2	
					化学実験	1	注2

区分	学年	科 目 名	単位数	備考
選択	3	インターンシップ	2	注3 注4

【卒業要件】

- ① 必修科目は、27単位を取得すること。
- ② 「バイオ電子フォトニクス実験A・B」、「マテリアルフォトニクス実験A・B」、「バイオ・メディカルフォトニクスセミナー」、「マテリアルフォトニクスセミナー」については、①グループ、②グループのいずれかを選択して合計6単位を取得すること。
- ③ 専門教育科目については必修、選択必修、選択科目合計で77単位以上を取得すること。

【注意事項】

- 注1 8月下旬に実施予定。(集中講義)
 注2 2月上旬～中旬に実施予定。(集中講義)
 注3 キャリア支援課より別途指示があります。この科目は履修登録を行うは必要はありません。
 注4 CAP制の対象外科目

(2) 電子光工学科

区分	学年	春 学 期			秋 学 期		
		科 目 名	単位数	備考	科 目 名	単位数	備考
必修	2	コンピュータプログラミング1	2		コンピュータプログラミング2	2	
		コンピュータシステム概論	2		フーリエ応用	2	
		ユビキタスネットワーク概論	2		アナログ回路	2	
		デジタル回路	2		制御工学概論	2	
					振動・波動論	2	
	3	コンピュータアプリケーション	2				
		デジタル信号処理	2				
		エレクトロニクスデザイン	2				
		電子光学実験	2		電子光学プロジェクト	2	
	4	光システム輪講	1	注2			
		光システムセミナー	2				
		卒業研究A	3	注2	卒業研究B	3	注2
選択	2	環境学	2		電磁気学	2	
		オプティクス	2		システム統計	2	
		離散数学	2		情報セキュリティ	2	
					数値計算概論	2	
					電磁エネルギー工学	2	
	3	量子力学	2		半導体デバイス工学	2	
		フォトニクスデバイス	2		医用レーザー工学	2	
		フォトニクス計測	2		量子エレクトロニクス入門	2	
		半導体科学	2		ナノフォトニクスデバイス	2	
		電磁波工学	2		光ファイバシステム	2	
		シミュレーション工学	2		エレクトロニクス計測	2	
		日中比較文化論	2		ロボティクス	2	
		システム制御論	2		画像工学	2	
		幾何学概論	2		マイクロコンピュータ実習	2	
		統計解析	2		企業リテラシ	2	
		半導体基礎	2		情報通信ネットワーク工学	2	
		センサ工学	2		教育とコンピュータ	2	
		代数学概論	2		情報と職業	2	
	ユーザインターフェース	2		代数学 I	2		
	4	幾何学 I	2		複素関数と特殊関数	2	
					幾何学 I 演習	1	

区分	学年	科 目 名	単位数	備考
選択	3	インターンシップ	2	注1 注2

【卒業要件】

専門教育科目については必修、選択科目合計で77単位以上を取得すること。

- ① 必修科目は、39単位を取得すること。

【注意事項】

注1 キャリア支援課より別途指示があります。この科目は履修登録を行うは必要はありません。

注2 CAP制の対象外科目

(3) 情報システム工学科

区分	学年	春 学 期			秋 学 期		
		科 目 名	単位数	備考	科 目 名	単位数	備考
必修	2	Cプログラミング	2		統計学基礎	2	
		フーリエ基礎	2		Javaプログラミング	2	
		離散数学	2		情報通信システム概論	2	
		情報処理システム論	2		電子回路実習	1	
		電子回路	2		情報処理プロジェクト	2	
					アルゴリズムとプログラミング	2	
					サービス科学	2	
	3	システムデザインプロジェクト	2				
		コンピュータネットワーク	2				
		ソフトウェア工学概論	2				
	4	情報システムセミナー	2				
		輪講	1	注3			
		卒業研究A	3	注3	卒業研究B	3	注3
必修 選択	3				ハードウェアシステムプロジェクト	2	②
					ICTソリューションプロジェクト	2	
					サービスプロジェクト	2	
選択	2	コンピュータアーキテクチャ	2		情報セキュリティ	2	
		コンピュータと言語処理	2		オペレーティングシステム	2	
		モバイルコンピューティング	2		文章技法1	2	
		線形代数 I	2		線形代数 II	2	
	2~3				フーリエ応用	2	
	3	デジタル信号処理	2		情報通信ネットワーク工学	2	
		人工知能	2		センサネットワーク	2	
		データベース工学	2		データマイニング	2	
		ユーザビリティ工学	2		感性工学	2	
		統計解析	2		教育とコンピュータ	2	
		経営学	2	注2	サービス工学	2	
		幾何学概論	2		企業リテラシ	2	
		ユーザインターフェース	2		人間コミュニケーション論	2	
		代数学概論	2		数値計算概論	2	
		計算基礎論	2		情報と職業	2	
					文章技法2	2	
					代数学 I	2	
	4				ワイヤレスネットワーク	2	
					ソフトウェアデザイン	2	
		幾何学 I	2		複素関数と特殊関数	2	
				幾何学 I 演習	1		

区分	学年	科 目 名	単位数	担当者
選択	3	インターンシップ	2	注1 注3

【卒業要件】

専門教育科目については必修、選択必修、選択科目合計で77単位以上を取得すること。

- ① 必修科目は、38単位を取得すること。
- ② 選択必修科目は、ハードウェアシステムプロジェクト、ICTソリューションプロジェクト、サービスプロジェクトから1科目2単位を修得すること。

【注意事項】

注1 キャリア支援課より別途指示があります。この科目は履修登録を行うは必要はありません。

注2 集中講義で実施

注3 CAP制の対象外科目

4. CAP制 (キャップ制) 履修単位数の上限設定

単位取得に必要な学習時間の確保のため、一学期に履修登録できる総単位数に上限を設定しています。

- 履修上限単位 「スポーツ総合1・2」、「キャリア形成B1・B2」、「認定英語1・2・3」、「インターンシップ」、「輪講」「卒業研究A・B」、「自由科目（教職に関する科目、卒業要件に算入しない他学科履修科目）」を除いて **全学年各学期22単位** を標準とします。

【例外】

- (1) 前学期の学期 **GPA** が 2.5 以上の学生 = 24 単位
- (2) 前学期の学期 **GPA** が 1.6 ~ 2.4 の学生 = 22 単位 (標準)
- (3) 前学期の学期 **GPA** が 1.5 以下の学生 = 20 単位

5. GPA (Grade Point Average)

学生一人ひとりの履修科目の成績の平均を数値により表したものです。具体的な算出方法については次のとおりです。

【GPA計算方法】

GPAを算出する際は、成績評価を受けた卒業要件に含まれる全ての科目を対象として算出します。(自由科目(教職に関する科目、卒業要件に算入しない他学科履修科目)はGPAに算入しません。)

①成績に付与されるGP

成績評価	秀	優	良	可	不可	未受験欠席	認定
点数	100~90	89~80	79~70	69~60	59以下	—	—
G P (Grade Point)	4.0	3.0	2.0	1.0	0	0	対象外

※認定英語1・2・3、他大学等で取得した単位を認定した場合の単位は、GPAに算入しません。

②GPA計算式

不可には未受験欠席も含む
↓

$$\frac{(4.0 \times \text{秀の単位数}) + (3.0 \times \text{優の単位数}) + (2.0 \times \text{良の単位数}) + (1.0 \times \text{可の単位数}) + (0 \times \text{不可の単位数})}{\text{履修単位数}}$$

※成績が「不可」又は「未受験欠席」の科目は、GPは0となりますが分母の「履修単位数」に当該科目の単位は含まれます。また、小数点第2位以下を四捨五入して表記します。

③学期GPAと通算GPA

- 学期GPA その学期で評価を受けた科目により算出したGPA
- 通算GPA 各学期に評価を受けた科目の総和により算出したGPA

6. 履修中止制度

履修中止制度とは、一定期間履修し「授業内容が期待していたものと違う」・「授業を理解するための知識が無かった」等の理由により、学期の途中で履修を中止することを認める制度です。但し、必修科目及び専門選択必修科目は認められません。履修の中止を認めた科目はGPAに算入しませんので、履修を継続する科目の学修に専念してください。

7. GPAの成績証明書への記載

成績証明書には、GPAを記載しません。但し、進学・就職でGPAの記載が必要であり、本人が希望する場合は『通算GPA』のみを記載することができます。また、各学期の始めには前学期の『学期GPA』並びに『通算GPA』を通知しますので、GPAによる履修可能単位数を確認してください。

8. GPAの活用

GPAの活用事例は下記のとおりです。

- GPA 1.5未満の学生への個別履修面談
- 各種奨学金の選考資料
- 表彰者選考資料
- 企業への推薦者決定の参考資料
- 大学院入学試験筆記試験免除制度の要件確認資料など

9. 成績について

成績評価は、「秀」、「優」、「良」、「可」、「不可」、「欠席」、「認定」があります。

評価	点数
秀	100～90点
優	89～80点
良	79～70点
可	69～60点
不可	59～0点
欠席	評価しない (成績表に記録されます)
認定	—

10. 取得可能学位

学士（理工学）